



飲用に適する井戸の分布(昭和14年調査)

松江市内では明治22年頃に飲用できる井戸は894戸(松江市誌)で、昭和14年の調査では、飲用できる井戸は599戸と、水道が出来て約300の井戸が減っている。この図からは、飲用できる井戸のうち、雑賀・堅町・幸町・栄町は市全体の約50%を占めており、逆に、殿町・母衣町・南北田町はほとんどなかったと思われる。(松江市水道局蔵) 112.0×79.5cm